

損保ジャパン-TCW外国株式ファンド Bコース

SOMPOホールディングス
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

格付：**C + 4**



CLUB ALCHEMISTA

日本を除く世界各国の株式に投資を行う投資信託です。

属性 **投資信託**

対象 **日本を除く世界各国の株式**

利回り **-3.59%**

概要

日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCIコクサイ インデックス（日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数）を中長期的に上回る運用成果を目指す。7月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	USD 他
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

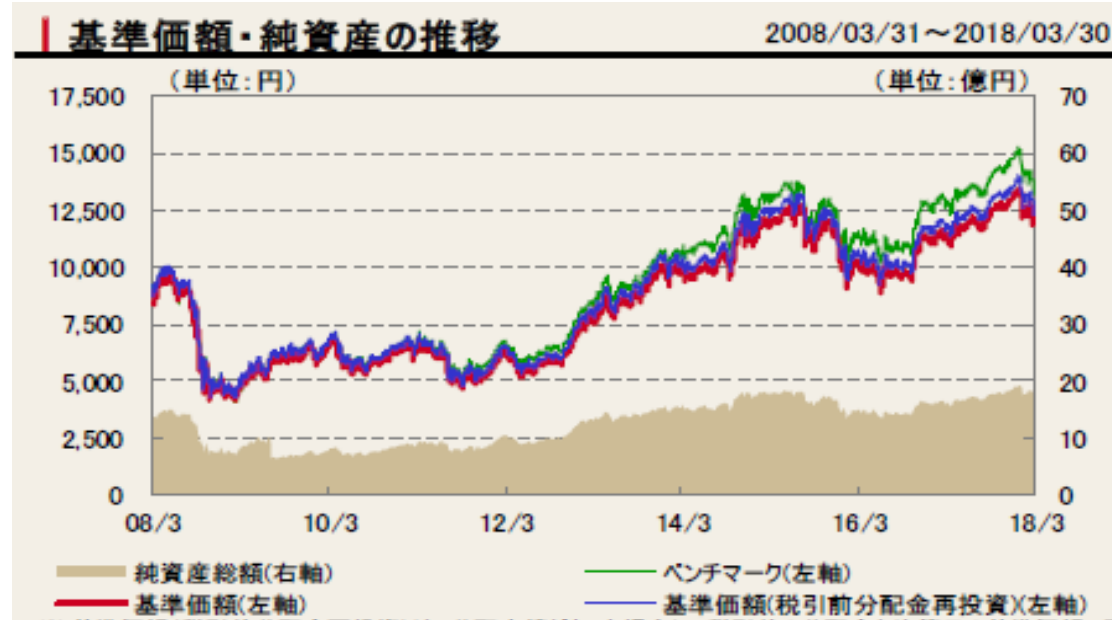
Web: <http://www.sjnk-am.co.jp/>

所在地： 東京都中央区日本橋2-2-16

共立日本橋ビル3階(受付)

Summary

3月、米国の保護主義の高まりや、米国で中国製品への関税賦課に関する大統領令が署名され、中国も報復措置を発表するなど、貿易戦争への懸念が高まったことを受け、外国株式市場（現地通貨ベース）は下落した。損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンドの月間騰落率は、ベンチマークであるMSCIコクサイ インデックスの月間騰落率を上回り、銘柄選択効果として、スマートフォンやタブレット端末などを販売するアップルのアンダーウェイト、不動産・投資管理会社のジョーンズ・ラング・ラサールのオーバーウェイトがプラス寄与という結果であった。一方で、企業の情報管理用ソフトを手がけるオラクル、ソフトウェア製品の開発を行うマイクロソフトのオーバーウェイトが相対的にマイナスの影響を与えることとなった。本投資信託では、各投資戦略の比率を適宜調整し個別企業の基礎的条件の分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオの構築に努めており、セクター別では、ベンチマークに対して情報技術セクターの保有割合を高めているとしている。以上のことから、リターン面を「C+」、リスクを「4」と判断する。



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。

Copyright (C) 2018 Club ALCHEMISTA